

質問 都は年末に増加する全運転が軽視されがちで、交通事故の抑止を図るため、自転車事故や交通ルール違反が問題視されている。関係団体等と連携して、冬のTOKYO交通安全キャンペーンを実施している。

①通学路などの危険箇所を把握しているか。また、どのような安全対策等を行っているか。

②交通安全対策における重点について、考えは。

答弁 ①令和7年度は4校において関係団体等と通学路合同点検を実施し、危険箇所を直接把握した。併せて、注意喚起に関する看板等の設置を行った。

質問 ②子どもや高齢者への安全対策の推進を図ることなどが重要と考えている。

質問 自転車は身近な移動手段として根付く一方、年齢者にとってはポイント獲得のハードルが高いと感じる。①高齢者のデジタルデバイス解消に向けた取り組みの状況は。②スマートフォンを持たない高齢者を対象とした購入費補助を実施している自治体もある。導入する考えは。

答弁 ①購入費補助を実施する考えはないが、都と連携した高齢者スマホ相談会など、市内横断的に連携した事業を実施してきた。今後もスマートフォン講座や相談窓口の拡充に努めていく。

安心・安全なまちづくりについて
公明党昭島市議団 吉野 智之 議員

質問 交通安全対策について、①道路交通法の改正に伴い、令和8年4月から16歳以上を対象に自転車の違反に罰金が科されるが、小中学生に対しても危険性を周知することが重要と考えている。新たなルール教育を行う考えは。②植栽が繁茂していることにより、自転車が車道を通行する場合に、自動車との接触が懸念される箇所がある。植栽の手入れを行う考えは。

質問 スポーツ施設について、①残堀川調節池運動施設、令和8年4月から16歳以上を対象に自転車の違反に罰金が科されるが、小中学生に対しても危険性を周知することが重要と考えている。新たなルール教育を行う考えは。②植栽が繁茂していることにより、自転車が車道を通行する場合に、自動車との接触が懸念される箇所がある。植栽の手入れを行う考えは。

答弁 ①関係団体から提供される資料等を活用した継続的な指導を徹底するよう各校に助言していく。②市民の安全確保を第一として、植栽の撤去等も含め、引き続き検討していく。

交通安全対策について
自由民主党昭島市議団 小林 こうじ 議員

一般質問 (要旨)



襷をつないで“走”快到ゴール!
(駅伝競走大会)

質問 水と緑のまちの取り組みについて、①拝島公園内の池が枯渇している。地下への浸透を防ぐため、池の底をコンクリートで覆うなどの対応を行っている。②拝島分水の復活について、考えは。

答弁 ①池の所有者と協議を行い、どのような保全対応が可能か調整していく。②問題解決への具体的な対応策はないが、引き続き取水口付近の土砂の撤去について都と協議していく。

GLP昭島プロジェクトについて
みらいネットワーク 林 まい子 議員

質問 GLP昭島プロジェクトについて、①年間電力消費量が市全体の約6倍といわれる計画において、非常用発電機に対する事前の環境影響の予測と対策についての説明、また、稼働時の測定や情報開示を求めるべき。

答弁 ①大規模な開発計画に対し、どのように市民の不安を払拭するのか。②事業者との基本協定書第2条「まちづくりへの協力」で、分野別計画の尊重と協力を定めている。都市計画マ

質問 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した独自支援策について、一般財源の積極的な支出も含めた考えは。

答弁 これまでも様々な物価高騰対策を講じており、市民や事業者にとって真に必要な支援策を速やかに実施していく。

質問 高齢者・障害者を対象とした都のエアコン購入費補助において、東京ゼロエミポイントの付与が拡充されたが、対象機器は高額である。市拡充を検討しては。

答弁 都の補助制度を活用しながら、物価上昇対策として、市の単独事業として加算を行っている。今後、法投募を助長する等の課題が多く、現時点で設置の考えはない。

質問 物価高騰から市民の暮らしを守る対策について、現在、市内には11の可燃ごみ処理手法の処理能力・環境性等を具体的に確認し、早期に一定の方向性を示していきたい。

質問 多くの利用者・通行者がいる「広島県府中町」平成30年7月の西日本豪雨への対応について「山口県岩国市」防災学習館について

参加者 10人(委員7・同行職員2・随行職員1)

費用 75万5千644円

物価高騰から市民の暮らしを守る対策について
日本共産党昭島市議団 奥村 博 議員

行政視察報告

総務委員会

びろチョイス」の取り組みについて

◇参加者 10人(委員8・同行職員1・随行職員1)

◇費用 115万5千510円

建設環境委員会

視察日 令和7年10月22日(水)～24日(金)

◇視察項目 「宮崎県日向市」日向市駅周辺土地区画整理事業について 「宮崎県延岡市」ニュータウン脱炭素再生戦略について 「宮崎県国富町」空き家問題への取り組みについて

◇参加者 8人(委員6・同行職員1・随行職員1)

◇費用 69万1千495円

厚生文教委員会

視察日 令和7年10月15日(水)～17日(金)

◇視察項目 「北海道苫小牧市」子どもとまんなかアクションについて

「北海道帯広市」帯広市教育支援センター「ひろびろ」及び「ひろ

GLP昭島プロジェクトについて

は、可能な限りの情報を積極的に周知するよう、求めていく。②事業者が更なる市民との対話に努め、相手の心情を理解し、でき得る対応を講じることが肝要である。③発言は市民の

